

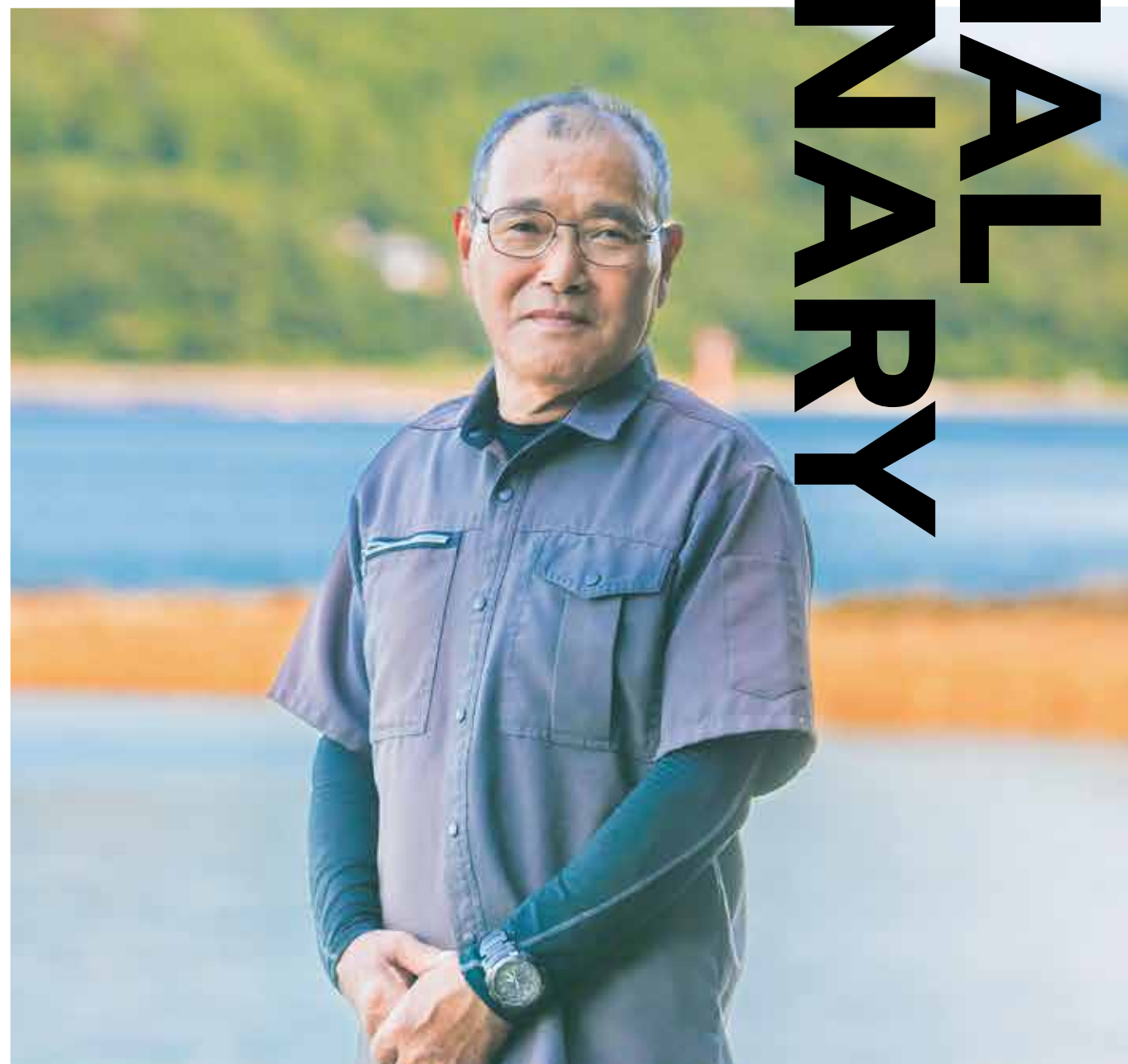
「ステンレスすのこ」を通じて出会った
養豚家の、豚や畜産、食への想い。
東の空に日がのぼり、西の山に沈んでゆく。
その繰り返しのうちに宿る、
かけがえのない日々を記録しました。

ステンレスすのこ
JOURNAL

vol. 2



SPECIAL ORDINARY DAYS



株式会社 森山畜産 × Stainless switching Consultation
太華工業株式会社

特許
取得！

特許第7495754号

養豚経営を向上させる

ステンレスすのこ

STAINLESS "SUNOKO"

高性能ステンレスによって、耐久性が高く、
超軽量の全く新しい「ステンレスすのこ」を開発しました！

製品
の
仕様

超軽量

コンクリートの**8分の1**

1,800mm×360mmの場合
コンクリート85kgに対して、ステンレスすのこは10kg

強度抜群

1トン以上の荷重もOK！

耐用年数は20年以上を想定

- ✓ 高性能ステンレス使用
- ✓ すのこ1枚は横板4本で構成
- ✓ 溝面積が全体の30%あり、糞尿落下がスムーズ
- ✓ すのこ側面と底面に糞尿が付着しない構造
- ✓ 簡単な洗浄作業で、表面にも糞尿が残らない
- ✓ 板面にエンボス加工(凸凹加工)を施しており、豚や人が滑りにくい
- ✓ 隣接するすのこ同士が連結する仕組みで、豚がすのこをひっくり返せない

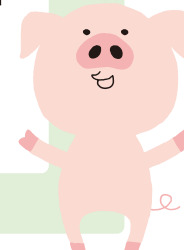
オーダーメイドで製造

TYPE A	[W]1,500mm×[D]360mm [H]70mm / [溝D]25mm [重さ]約8kg
TYPE B	[W]2,000mm×[D]400mm [H]80mm / [溝D]25mm [重さ]約12kg
TYPE C	[W]1,200mm×[D]315mm [H]50mm / [溝D]15mm [重さ]約6kg

長さ、巾、高さ、横板巾、溝巾を
1mm単位で調整可能です。

※長さは、2,400mmまで

お気軽に
お問い合わせ
ください！



INFORMATION

☎ 0834-32-5581 [受付時間]
9:00～17:00(土日祝除く)

✉ sunoko@taika.co.jp

製造・開発



畜産器材専門メーカー
株式会社 ユーチカ

〒781-6402 高知県安芸郡奈半利町乙448-7

販売代理店



Stainless switching Consultation
太華工業株式会社

〒745-0072 山口県周南市弥生町2丁目18番地

《公式ホームページ》





天草の自然に抱かれて、豚への愛を育む
株式会社

森山畜産

熊本県南西部、海と山に囲まれた風光明媚な自然が残る天草諸島。大小120あまりの島々が織りなすこの地で、代表取締役の森山政敏さんは、一からこの農場を立ち上げ、今日まで46年営んできた。

創業以来、常に試行錯誤を重ねながら堅実な事業を続けてきた森山社長は「養豚に絶対的な答えはない」と語る。そんな森山社長に、これまでの歩みと現在の取り組みについて伺った。

従業員の声に耳を傾けて、働く環境を少しずつ前へ

当社では、半土間半すのこの豚舎を使用しており、すのこの部分にはコンクリート製を採用しております。ただ、その交換作業となると、従業員にとってはかなりの重労働となっており、必要業務の中でも負担の大きいものでした。

そうした中で、農場長の山田から「すのこの交換や洗浄作業の負担を軽くしたい」という声が上がることになり、現場の意見を取り入れ、軽量かつ耐久性に優れたステンレスすのこの導入を決断しました。とはいえ、コンクリートすのこのを一斉に交換するとなると、コスト面の課題も無視できません。そこで、まずは劣化の進んだ箇所から順次、ステンレスすのこのへと切り替えていくことにしました。

交換作業では、見た目に腐食が進み隙間が広がっている箇所は当然交換対象となります。しかし、表面からは分からない裏面でも鉄筋の露出やひび割れが生じるなど、通常では把握しにくい劣化も課題でした。



▲表面以上に腐食が激しく、鉄筋が見えてしまっている



▲腐食により、溝の部分が広がってしまっている

洗浄作業から生まれた大きなメリット

想定外にメリットを感じたのは、洗浄作業でした。以前のコンクリートすのこでは、1豚房の洗浄に30分以上を要しておりました。特に劣化が進んだコンクリートすのこは、凹凸になった隙間に汚れが入り込み、清掃にはさらに時間と手間がかかるようになっていました。

しかし、ステンレスすのこに切り替えてからは、初めに豚舎全体を湿らせる目的で壁に流した水が自然と床面にも行き渡ります。そのおかげで仕上げの高圧洗浄水をかければ汚れがすっと流れ落ちるようになりました。

その結果、洗浄作業にかかる労働時間も、これまでの半分以上にまで短縮されたのです。

山田農場長からも「作業時間に余裕が生まれ、他の業務に集中できるようになりました」との声があり、洗浄の効率化によって現場全体の働き方にも良い影響が出ています。加えて、洗浄水量も大幅に減り、限られた労働時間や水資源をより有効に活用できるようになったことは、当社にとって大きな削減効果です。



▲使用しているステンレスすのこ

豚への愛情をかたちに、次の世代へとつなぐ

当社では、豚舎の稼働率100%を目指し、週齢管理を徹底しております。繁殖・分娩・離乳・肥育のサイクルを均等に保ち、限られたスペースを最大限に活用することで、効率的かつ無理のない運営を心がけています。ステンレスすのこは洗浄時間が短く、水切れもよくすぐに乾くため、豚房を長く空けておく必要がなくなり、運営効率も高まりました。

こうした日々の改善を積み重ねることが、次世代への価値につながると信じています。たとえ初期費用がかかっても将来を見据えた選択を行い、重労働を省力化して担い手が安心して働ける環境を整えることも、未来に向けた大切な準備です。

私は今でも、毎朝欠かさず豚舎を見て回り、豚の状態の変化を自らの目で確認しています。日々の観察が、新たな改善や挑戦へとつながります。現場に根ざした経営を続けながら、人にも豚にもやさしい農場づくりを進め、これからは養豚の新しい可能性に挑戦し続けていきます。

重労働の軽減は、人の働きやすさにつながる

洗浄作業だけでなく、交換作業の負担軽減も大きな成果の一つです。当社のコンクリートすのこは1枚あたり長さ1.2mと小型ですが、それでも30kg以上の重さがあり、作業者が1枚ずつ何度も往復して運ぶのは大変でした。



▲代表取締役の森山さん(左)と農場長の山田さん(右)

その点、ステンレスすのこは1枚わずか6kg程度と非常に軽量であり、荷車にまとめて載せて一度に運ぶことが可能になりました。作業効率の向上はもちろんのこと、作業者の身体的負担が大きく軽減されたことは、経営者として何よりも嬉しい成果です。従業員の負担を減らし、働きやすい職場を実現することは、持続的な畜産経営の土台であると考えております。

人にも豚にも、
優しい農場を目指して

従業員の声に耳を傾け、働きやすい環境づくりを進めながら、豚にも人にもやさしい農場を目指していきたいと語る森山社長。長年にわたって培ってきた養豚の技術、そして豚への深い愛情。さらに、現場の声を大切にしながら、より良い職場環境を追い求める姿勢。その一つひとつの想いが、これからは株式会社森山畜産の未来をしつかりと支えていくに違いありません。

森山畜産の「ステンレスすのこ」の様子はYoutubeにて!